

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat
製品コード	: 01319
製品グループ	: 取引製品

会社情報

製造業者

株式会社モデスタ

761-8075

日本香川高松市東ハゼ町 20-3

www.modesta.co

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分 3
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (呼吸器系, 肝臓)

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻醉作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 引火性液体及び蒸気 (H226)

皮膚刺激 (H315)

強い眼刺激 (H319)

眠気又はめまいのおそれ (H336)

臓器の障害 (呼吸器系、肝臓) (H370)

長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)

容器を密閉しておくこと。(P233)

容器を接地しアースをとること。(P240)

火花を発生させない工具を使用すること。(P242)

静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)

蒸気、ミストを吸入しないこと。(P260)

取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

環境への放出を避けること。(P273)

適切な保護手袋を着用すること。(P280)

応急措置

: 皮膚に付着した場合：多量の石けん及び水で洗うこと。(P302+P352)

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していく容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

火災の場合：消火するために耐アルコール泡を使用すること。(P370+P378)

保管

: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

施錠して保管すること。(P405)

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

廃棄 : 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。(P501)

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
3-アミノプロピルトリエトキシラン	0.03	C9H23NO3Si	(2)-2061	既存化学物質	919-30-2
ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル	99.55	C8H18O	(2)-363	既存化学物質	142-96-1

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

: 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

: 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。

眼に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。

: コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

: 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当を受けること。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷

: 眠気又はめまいのおそれ。

症状/損傷 吸入した場合

: ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

: 刺激性。

症状/損傷 眼に入った場合

: 眼刺激。

症状/損傷 飲み込んだ場合

: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療

: 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

: 強い水流は使用しない。

火災危険性

: 引火性液体及び蒸気。

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

爆発の危険

: 直接に爆発する危険は全くない。

火災時の危険有害性分解生成物

: 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火方法

: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。

呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

消火時の保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。

自給式呼吸器。

完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

物的被害を防止するためにも流出したものを受け取ること。

非緊急対応者

保護具

: 推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置

: 漏出エリアを換気する。

裸火、火花禁止、禁煙。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。

詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

応急処置

: 不要な職員を退避させる。

安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

: 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

: 漏出物を回収すること。

流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。

可能であればリスクなく漏出をせき止める。

: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報

: 物質または固体残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: データなし

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全取扱注意事項

- ：熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- 容器を接地すること／アースをとること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。
- 防爆型装置を使用する。
- 個人用保護具を着用する。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避

衛生対策

処理時の追加危険有害性

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

技術的対策

容器包装材料

- ：データなし
- ：汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 製品取扱い後には必ず手を洗う。

- ：通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

- ：換気の良い場所で保管すること。
- 涼しいところに置くこと。
- 容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

- ：データなし

- ：容器を接地すること／アースをとること。

- ：製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ：作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具

- ：推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

- ：換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具

- ：保護用手袋

眼の保護具

- ：安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

- ：適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視

- ：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

- ：液体

色

- ：

臭い

- ：データなし

pH

- ：データなし

融点

- ：データなし

凝固点

- ：データなし

沸点

- ：データなし

引火点

- ：データなし

自然発火点

- ：データなし

分解温度

- ：データなし

可燃性

- ：引火性液体及び蒸気

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気。 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱、炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない(粉じん、ミスト)

3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
急性毒性 (経口)	ラットを用いた試験において、LD50 値 1570 (雌)、2830 (雄) mg/kg および 3.65ml/kg (雌/雄) (SIDS, (access on July 2008)) のデータが得られた。GLP 試験かつ安全側の結果 LD50 値 1570mg/kg (雌) を採用し、EU 警句 R22 「飲み込むと危険」 (EU-Annex I, access on 7. 2008) もあることから、区分 4とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギを用いた試験における、LD50 値 4.29g/kg bw (SIDS, (access on July 2008)) のデータを採用し、JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS 定義による液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラットの吸入試験における LC50 値 16ppm 以上 (4h 換算値 19.6ppm 以上) (SIDS, access on 7. 2008) が得られたが、このデータだけでは区分が特定できないことから、データ不足のため分類できないとした。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットを用いた吸入 4h 暴露試験の LC50: 7.35mg/L (換算値: 812ppm) (SIDS, access on 7. 2008) に基づき、区分外とした。
LD50 経口 ラット	1570 – 3650 mg/kg 出典: OECD スクリーニング情報データセット
LD50 経口	1570 mg/kg

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
LD50 経皮 ウサギ	4290 mg/kg 出典: OECD スクリーニング情報データセット
LD50 経皮	4290 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 7.35 mg/kg 出典: OECD スクリーニング情報データセット
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	7.35 mg/l/4h
ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値 7.40 mL/kg (密度 0.7684 に基づき 5686 mg/kg 相当) (PATTY (5th, 2001)) は区分外に該当する。
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 値 10.08 mL/kg (密度 0.7684 に基づき 7745 mg/kg 相当) (PATTY (5th, 2001)) は区分外に該当する。
急性毒性 (吸入: 気体)	GHS の定義による液体である。
急性毒性 (吸入: 蒸気)	ラット吸入試験において 4000 ppm で死亡率 2/6 であったが (PATTY (5th, 2001))、情報不足で分類できない。なお、飽和蒸気圧濃度は 16447 ppmV あり、その 90% 値よりも低いため気体のカットオフ値を用いて評価した。
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	7400 mg/kg BW 動物: ラット、動物の性別: オス、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)、95% CL: 6410 - 8530
LD50 経口	5686 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	7741 mg/kg BW 動物: ウサギ、動物の性別: オス、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)、95% CL: 3387 - 17695
LD50 経皮	7745 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	21.6 mg/l 出典: OECD スクリーニング情報データセット
皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた試験にて、脱毛症、潰瘍、壊死が観察された。また、可逆的ではあるが、斑状出血、中～重度の浮腫が観察されており (SIDS, access on July 2008)、重篤な皮膚への腐食性を示すと考えられたことから区分 1 とした。Draize スコアを記載したデータがないため区分 1 における細分化はできない。
ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギでの試験で刺激性のスコアが 4 (PATTY (5th, 2001)) であり、また別の試験で壊死を伴わない重度の刺激炎症 (HSDB (2008)) が認められ、さらに EU 分類が Xi R38 (EU-Annex I (2008)) であることから区分 2 とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 強い眼刺激
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた試験 (OECD405) のデータを採用。非洗眼群 および洗眼群における角膜壊死 (SIDS, access on July 2008) の結果に基づき、区分 1 とした。

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギでの試験で角膜傷害の刺激性のスコアが 1 (PATTY (5th, 2001)) であり、また、EU 分類で Xi R36 であることから区分 2 とした。
-----------------	--

呼吸器感作性 : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

呼吸器感作性	データなし。
--------	--------

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

呼吸器感作性	データなし。
--------	--------

皮膚感作性 : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

皮膚感作性	モルモットを用いた試験において、ピーナツオイルを媒体としたデータ (1997) で刺激性が認められたことから区分 1 とした。また、他の 2 試験のデータ (1996, 1987) は、生理食塩水および水を媒体としているが、加水分解した物質のデータ (SIDS, access on July 2008) であるため評価に用いなかつた。
-------	--

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

皮膚感作性	データなし。
-------	--------

生殖細胞変異原性 : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

生殖細胞変異原性	マウスの腹腔内投与による骨髄細胞を用いた小核試験（体細胞 in vivo の変異原性試験）における陰性結果 (SIDS, access on July 2008) に基づいて、区分外とした。なお、in vitro 変異原性試験（エームス試験、CHL 細胞を用いた染色体異常試験）の結果は陰性である (SIDS (Access on July 2008))。
----------	---

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

生殖細胞変異原性	in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、Ames 試験では陰性の結果だった (NTP DB (Access on November 2008))。
----------	---

発がん性 : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

発がん性	データなし。
------	--------

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

発がん性	データなし。
------	--------

生殖毒性 : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

生殖毒性	ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験 (SIDS, access on 7. 2008) では、親動物への体重増加抑制のみられる投与量で仔に仙椎骨および胸骨分節の非骨性がみられるが、明確な発生毒性はみとめられていない。親動物の性機能および生殖能に関する情報が不十分であり分類できないとした。
------	---

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

生殖毒性	データなし。
------	--------

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害(呼吸器系、肝臓)
眠気又はめまいのおそれ

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットを用いた経口投与試験 (OECD TG 401) における動物の死亡する用量 (5.0mL/kg) で運動失調、傾眠などの症状がみられる。また、ラットを用いた吸入ばく露試験 (OECD TG 403) において、立直り反射の低下、呼吸困難、自発運動の抑制、運動失調、口、鼻、眼よりの分泌物が 7.35mg/L でみられ、これら症状は 3 日後には回復する (SIDS, access on July 2008) ことから区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) とした。
-----------------	---

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	マウスの経口投与試験において、ガイダンスの区分 2 に該当する 576mg/kg および 457mg/kg の用量で脂肪肝が認められ (RTECS (2007)) 、ラットの吸入ばく露試験において、ガイダンスの区分 2 を超える 20.2mg/L/4 時間の用量で、肺、気道の影響と脂肪肝が認められ (RTECS (2007)) 、さらに、マウスの区分 1 のガイダンス値に相当する 10mg/L/30 分 (4 時間換算: 1.25mg/L) の用量で運動失調、肺、気道の影響 (RTECS (2007)) 、10mg/L/75 分 (4 時間換算: 3.13mg/L) の用量で麻酔作用、肺、気道の影響と脂肪肝 (RTECS (2007)) 、169mg/L/15 分の暴露で麻酔作用が認められる。リスト 3 からのデータではあるが複数の試験において症状が共通して認められる事より区分 1 (呼吸器、肝臓)、区分 3 (麻酔作用) とした。なお、ヒトが 200 ppm, 15 分の蒸気にばく露すると眼と鼻に刺激性を生じるとの記述がある (HSDB (2008))。
-----------------	---

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いたエアロゾル吸入試験で呼吸器系への刺激、炎症、化生様変化等が 150mg/m ³ /6h (4 週間暴露) で発生した (SIDS, access on 7. 2008) ことから区分 2 (呼吸器) とした。
LOAEL (経口、ラット、90 日)	600 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 408 (げっ歯類における反復投与 90 日間経口毒性試験)
LOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90 日)	17 mg/kg BW 動物: ウサギ
NOAEL (経口、ラット、90 日)	200 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 408 (げっ歯類における反復投与 90 日間経口毒性試験)

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた 4 週間 (5 日/週) の強制経口投与試験で、甲状腺の軽度の組織変化が認められているが、circulating thyroxin (T4) or triiodothyronine (T3) レベルに変化は認められていない (HSDB (2008))。また、異物代謝酵素の活性亢進が区分 2 の用量に相当する 200 mg/kg (90 日換算: 47.6mg/kg) の用量で認められている以外に影響は認められていない (HSDB (2008))。他のラットを用いた 2 つの 4 週間の経口投与試験においてもガイダンスの区分 2 を超える 400mg/kg (90 日換算: 133mg/kg) または 4000mg/kg (90 日換算: 1333mg/kg) の用量で異物代謝酵素の活性亢進以外に顕著な影響は認められない (RTECS (2007)) ことから区分外 (経口) に相当するが、他経路の情報がなく分類できないとした。
-----------------	---

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

LOAEL (経口、ラット、90日)	500 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: EPA OPPTS 870.3100 (げっ歯類における90日間経口毒性)
NOAEL (経口、ラット、90日)	125 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: EPA OPPTS 870.3100 (げっ歯類における90日間経口毒性)

誤えん有害性 : 分類できない

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

誤えん有害性	データなし。
動粘性率	1.8 mm ² /s 温度: '20°C' パラメータ: '動粘度 (mm ² /s)'

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

誤えん有害性	データなし。
--------	--------

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に有害、長期継続的影響によって水生生物に有害。

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に有害

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害

3-アミノプロピルトリエトキシラン (919-30-2)

水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ゼebraフィッシュ) の 96 時間 LC50 ≥ 934 mg/L、甲殻類 (オオミジンコ) の 48 時間 EC50 = 331 mg/L、藻類 (セネデスマス) の 72 時間 EbC50 603 mg/L (いずれも SIDS, 2005) から、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	難水溶性でなく (水溶解度=760000 mg/L (SIDS, 2005))、急性毒性が区分外であることから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	934 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	331 mg/l
EC50 72h - 藻類 [1]	603 mg/l 出典: SIDS
ErC50 藻類	603 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.9 出典: ECHA

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)

水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) の 48 時間 LC50 = 26 mg/L (AQUIRE, 2008) から、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分 3 であり、急速分解性がない (難分解性、BOD による分解度: 3% (既存点検, 1986)) ことから、区分 3 とした。
LC50 - 魚 [1]	32.3 mg/l 試験生物 (種) : Pimephales promelas
EC50 - 甲殻類 [1]	26 mg/l
EC50 96h - 藻類 [1]	約 14.5 mg/l 試験生物 (種) : Raphidocelis subcapitata (旧名: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)	
EC50 96h - 藻類 [2]	約 20.9 mg/l 試験生物 (種) : Raphidocelis subcapitata (旧名 : Pseudokirchneriella subcapitata、 Selenastrum capricornutum)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.35 出典: OECD スクリーニング情報データセット

残留性・分解性

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat	
残留性・分解性	急速分解性でない
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
残留性・分解性	急速分解性でない
ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat	
生体蓄積性	データなし
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.9 出典: ECHA
ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.35 出典: OECD スクリーニング情報データセット

土壤中の移動性

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat	
土壤中の移動性	データなし
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.9 出典: ECHA
ジ-n-ブチルエーテル; ジブチルエーテル (142-96-1)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.35 出典: OECD スクリーニング情報データセット

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法

: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

地域の廃棄規則

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報

: 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

空の容器を再利用しない。

安全データシート

Modesta BC-06TC - Hydrophobic Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

緊急時応急措置指針番号	: 127
その他の情報	: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法	: 監視化学物質（法第 2 条第 4 項）
労働安全衛生法	: 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 3 号別表第 9） 危険物・引火性の物（施行令別表第 1 第 4 号） 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 3 号別表第 9）
消防法	: 第 4 類引火性液体、第二石油類非水溶性液体（法第 2 条第 7 項危険物別表第 1 ・第 4 類）
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y 類物質）（施行令別表第 1） 有害液体物質（Z 類同等の物質）（環境省告示第 148 号第 3 号）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第 4 条第 1 項第 2 号輸入承認品目「2 の 2 号承認」 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項 輸出貿易管理令別表第 2 （輸出の承認）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第 19 条の 13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第 12 号・別表第 2）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第 2 条第 1 項第 1 号イ、平成 30 年 6 月 18 日省令第 12 号）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わざい
かなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではな
いことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わ
ず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用るべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シ
ートに記載されている情報が適用されないことがある。